

2017年9月29日

東京電力ホールディングス（株）社長  
小早川 智明 様

日本共産党福島県議会議員団  
団 長 神山 悦子  
副 団 長 阿部裕美子  
副 団 長 宮川えみ子  
幹 事 長 宮本しづえ  
政調会長 吉田 英策

## 福島第一原発の井戸「サブドレイン」の水位設定ミスなど 東京電力のずさんな汚染水対策に対する 抗議及び再発防止を求める申し入れ

昨日28日、東京電力は、福島第一原発1～4号機建屋周辺の地下水くみ上げ用井戸「サブドレイン」の水位計の設定を誤り、原子炉建屋などにたまった汚染水が今年4月中旬から5ヶ月以上にわたり外部へ漏洩の恐れがある状況だったことを公表しました。

今年8月末にも、4号機近くの別の井戸で地下水が一時的に低下し運転上の制限を逸脱したにもかかわらず水位計の故障と誤って判断し公表が遅れた問題で、原子力規制委員会からも厳しい指摘を受けたばかりです。

今回の発表で、水位計の設定そのものに誤りがあったことが判明したことは重大です。東京電力の汚染水対策に対する姿勢は、あまりにもずさんであり、厳しく抗議します。

原発立地自治体の首長や漁業関係者からも厳しい批判と共に、原因の徹底究明を求める声が上がっています。

東京電力は、福島第二原発の廃炉を未だに明言しない一方で、柏崎刈羽原発を再稼働させるとしていますが、福島の汚染水対策をはじめ原発事故対応はあまりにもずさんであり、これでは福島の復興などありえません。

よって、今回の対応に強く抗議するとともに、以下の点を申し入れます。

### 記

- 1、東京電力は、汚染水問題の認識を改め、抜本的な体制強化を図ること。
- 2、今回の原因究明を行うとともに、他の機器類についても総点検を行い、再発防止を徹底すること。
- 3、事故処理・廃炉作業に伴う異常が発生した場合には、直ちに県民に情報を公開すること。
- 4、モラルハザードというべき事態が頻発している東京電力は、原発をになう資格がないことは明白である。柏崎刈羽原発再稼働を中止し、福島事故対応に全力を尽くすこと。

以上